

施策名：子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の推進

事業名	担当課・室名	ページ
小学校1・2年30人学級編制実施事業	教育人事課	1 / 11
中学校1年30人学級編制実施事業	教育人事課	1 / 11
未来を創る学力向上支援事業	義務教育課	1 / 11
ミュージアムを活用した美術教育実践事業	義務教育課	2 / 11
読書だいすき大分っ子育成事業	社会教育課	2 / 11
児童・生徒の歯と口の健康促進事業	体育保健課	2 / 11
スポーツを通じた学び推進事業	体育保健課	3 / 11
幼児教育推進体制充実事業	義務教育課	3 / 11
ものづくりスペシャリスト育成推進事業	教育財務課	3 / 11
OITAの未来を担う子ども育成事業	義務教育課	4 / 11
学びの接続推進事業	高校教育課	4 / 11
大分をつなぎ、つむぐキャリア教育推進事業	高校教育課	4 / 11
全国産業教育フェア大分大会開催事業	高校教育課	5 / 11
大分のものづくり魅力発信・人材育成事業	高校教育課	5 / 11
キャリアプロデューサー活用推進事業	高校教育課	5 / 11
大分の農林水産業を牽引する担い手育成推進事業	高校教育課	6 / 11

事業名	担当課・室名	ページ
魅力あふれる農業高校情報発信事業	高校教育課	6 / 11
地方創生を担うビジネスカパワーアップ事業	高校教育課	6 / 11
福祉の魅力発見・発信・発展事業	高校教育課	7 / 11
教育庁ワークセンター設置運営事業	教育人事課	7 / 11
特別支援教育振興事業	特別支援教育課	7 / 11
特別支援学校就労支援事業	特別支援教育課	8 / 11
特別支援学校キャリアステップアップ事業	特別支援教育課	8 / 11
大分地区特別支援学校再編推進事業	特別支援教育課	8 / 11
特別支援学校ICT活用充実事業	特別支援教育課	9 / 11
特別支援教育支援員活用事業	高校教育課	9 / 11
県立学校ICT活用授業推進事業	教育財務課	9 / 11
新時代の学びを支える先端技術活用支援事業	義務教育課	10 / 11
未来を拓く学校づくり事業	高校教育課	10 / 11
子ども科学体験推進事業	社会教育課	10 / 11
帰国・外国人児童生徒日本語教育推進事業	人権教育・部落差別解消推進課	11 / 11

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：Ⅲ-1-(1)】

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価			
1	小学校1・2年30人学級編制実施事業 (H18～) 教育人事課 基礎学力の確実な獲得に向けた基本的な生活習慣、学習習慣の早期定着や生徒指導上の適切な対応を行うため、小学校第1学年及び第2学年に30人学級編制を導入する。	①増加学級への教員配置 137,214	増学級数	目標値	93	89	79	基本的な生活習慣と学習習慣の定着度	目標値	71.0	71.5	72.0	A			
				実績値	93	89	—		実績値	77.9	73.5	—				
				[学級] 達成率	100.0%	100.0%	—		[%] 達成率	109.7%	102.8%	—				
							目標値				事業の成果・今後の方針					
							実績値				令和2年度の小1プロブレムの発生率は、統計を取り始めた平成21年度より9.3ポイント減少し、23.0%となった。また、年度内の小1プロブレムの未解消率は、15.3%から6.3%に減少した。					
							達成率									
			区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度										
予算	124,740	137,214	126,393													
決算	124,286	137,214	—													

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価			
2	中学校1年30人学級編制実施事業 (H20～) 教育人事課 中学校進学時の急激な環境の変化に伴う生徒指導上の対応に向けた体制を充実させ、学習体制の早期確立及び学力向上を図るため、中学校第1学年に30人学級編制を導入する。	①増加学級への教員配置 106,723 ②非常勤講師の配置 3,878	増学級数	目標値	68	74	73	生活・学習習慣の定着度	目標値	65.0	65.5	66.0	A			
				実績値	68	74	—		実績値	70.3	68.6	—				
				[学級] 達成率	100.0%	100.0%	—		[%] 達成率	108.2%	104.7%	—				
							目標値				事業の成果・今後の方針					
							実績値				平成17年度の県の学力調査では「授業がわかる」と肯定的に回答した生徒は、65.5%であったが、令和2年度は77.7%に向上した。個に応じた指導にかかる時間の増加や生徒一人当たりの発言機会の増加等が背景にあると考えられる。					
							達成率									
			区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度										
予算	111,036	110,601	122,840													
決算	110,183	110,590	—													

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価		
3	未来を創る学力向上支援事業 (R2～R4) 義務教育課 小・中学校の学力向上を図るため、習熟度別指導推進教員、小学校教科担任制推進教員を配置するとともに、基礎・基本の定着に加え、活用力の理解度を把握するため、学力定着状況調査（小5及び中2）を実施する。	①小学校教科担任制推進教員及び習熟度別指導推進教員の配置 518,364 ②問題データベースの配信による個に応じた指導の充実 31,927 ③大分県学力定着状況調査の実施 31,617	【中学校】年3回以上の公開授業を行った習熟度別指導推進教員数	目標値		38	19	【中学校】生徒の学力・全国平均正答率との比	目標値		101.6	101.7	A		
				実績値		37	—		実績値		108.1	—			
				[人] 達成率		97.4%	—		[%] 達成率		106.4%	—			
							目標値		120	120	事業の成果・今後の方針				
							実績値		120	—	令和2年度は、全国学力調査が実施されなかったため、大分県の調査結果をもとに実績値を算出。県の平均正答率は、5教科すべてで全国平均値を上回った。また、学級担任間での交換授業を導入した小学校の数が、昨年度より30校増え、小学校教科担任制が県内全域で進んだ。				
							[校] 達成率		100.0%	—	学校教育が抱える課題も複雑・多様化するなか、令和元年度263名、令和2年度308名と大量に採用した若手教員の育成を急ぎ、主体的・対話的で深い学びの一層の充実に取り組む。				
			区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度			80	100					
予算		588,636	657,993			111	—								
決算		587,991	—				138.8%								

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：Ⅲ-1-(1)】

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価		
4	ミュージアムを活用した美術教育実践事業 (R1 ~ R3) 義務教育課 児童の豊かな感性を育むため、優れた本物の作品を、ものの見方・考え方が広がる時期の小学校4年生に少人数で主体的に鑑賞させる。また、小学校図画工作科鑑賞領域における教員の研修を実施する。	①作品鑑賞について、各市町村から参加希望校を募集 3,306 ②引率教員研修の実施 202	県立美術館での鑑賞授業を実施した学級数 [学級]	目標値	54	54	54	美術館での鑑賞活動を授業実践につなげた学校の割合 [%]	目標値	100.0	100.0	100.0	A		
				実績値	41	37	—		実績値	100.0	100.0	—			
			達成率	75.9%	68.5%	—	達成率	100.0%	100.0%	—	事業の成果・今後の方針 令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、事業の開始時期を遅らせ、9月から1月までの実施とした。コロナ禍ではあったが、学校行事の縮小や削減もあり、体験活動をさせたいとの思いから、19校の参加希望があった。引率教員の負担軽減を図るため、6月に参集型で研修を行い、その後、当日展示される作品をもとに、ミニ研修の代わりとなる資料を参加校へ送付した。 令和3年度においても、学校が安心して参加できるように、引き続きコロナ対策を行い、事業を実施していく。				
			引率教員のための実践を見据えた事前研修の実施回数 [回]	目標値	5	2	2	目標値	7	2					
			達成率	140.0%	100.0%	—	各校による事後実践事例のホームページ掲載件数 [件]	目標値	5	5	5	実績値	5	5	—
			達成率	100.0%	100.0%	—	達成率	100.0%	100.0%	—					
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	予算	3,525	3,508	5,893	決算	2,670	3,145	—				

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価		
5	読書だいすき大分っ子育成事業 (H28 ~) 社会教育課 子どもの豊かな心の育成と学力向上のため、自主的に読書に親しむ子どもを育成し、読書量の増加と読書の質の向上を図る。	①子ども司書養成講座の実施及び読書日記帳の配布 3,342 ②モデル校へのアドバイザー派遣、セット本の貸出、作家の学校訪問 1,282 ③中学生・高校生ビブリオバトル大会の実施 183	子ども司書認定者数 [人]	目標値	72	72	72	公立図書館における中学生以下の子どもの一人あたりの児童書貸出冊数 [冊]	目標値	13.0	13.2	13.6	D		
				実績値	64	36	—		実績値	11.9	9.8	—			
			達成率	88.9%	50.0%	—	達成率	91.5%	74.2%	—	事業の成果・今後の方針 県内全域で休館や開館時間の短縮が行われたことにより総貸出冊数は減少したものの、モデル校に指定されアドバイザー派遣等を行った学校では貸出し数が増加している。 学年段階が進むにつれ読書好きな児童・生徒が減少しており、小学校段階から主体的な読書習慣を形成する必要があることから、学校における読書習慣の定着に加え、就学前の子どもの保護者啓発に重点的に取り組む。 今後は新たに幼児向け図書館の展示や読み聞かせ等の実演を商業施設等で行い、小学校就学前段階から家庭における読書活動を推進する。				
			モデル校へのアドバイザー派遣回数 [回]	目標値	16	16	16	目標値	17	16					
			達成率	106.3%	100.0%	—	中学生・高校生ビブリオバトル大会出場者数 [人]	目標値	34	34	34	実績値	41	46	—
			達成率	120.6%	135.3%	—									
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	予算	4,941	4,807	6,252	決算	3,496	3,190	—				

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価		
6	児童・生徒の歯と口の健康促進事業 (H29 ~) 体育保健課 児童・生徒の歯と口の健康の促進を図り、生涯を通じて心身ともに健康な生活が送れるようにするため、歯磨き指導・食に関する指導・フッ化物の活用による、市町村格差のない継続的なむし歯予防対策を実施する。	①市町教育委員会・教職員・保護者に対する説明会等の実施 1,170	フッ化物洗口不完全実施市町村における説明会等実施率 [%]	目標値	100.0	100.0	100.0	フッ化物洗口全学年実施小中学校数 [校]	目標値	320	361	361	B		
				実績値	100.0	100.0	—		実績値	296	326	—			
			達成率	100.0%	100.0%	—	達成率	92.5%	90.3%	—	事業の成果・今後の方針 新型コロナウイルスの感染拡大につながるのではとの懸念により、フッ化物洗口を見合わせる市町村があったが、衛生管理に配慮したフッ化物洗口の注意点を示すなど、市町村教委に対し働きかけを行ったことで実施学校数の拡大につながった。 また、新型コロナウイルスの影響により市町村担当者会議の開催を見送ったが、情報共有や働きかけを積極的に行ったことで、令和3年度からすべての小中学校の全学年で実施されることとなった。				
			市町村フッ化物洗口担当者会議 [回]	目標値	—	1	1	目標値	—	—					
			達成率	—	—	—	目標値	—	—	—	実績値	—	—	—	
			達成率	—	—	—	達成率	—	—	—					
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	予算	1,887	1,170	1,549	決算	1,057	782	—				

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：Ⅲ-1-(1)】

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価
7	スポーツを通じた学び推進事業 (H30～R2) 体育保健課 子ども達がスポーツ（障がい者スポーツ含む）への関心を深めるとともに、目標に向かって努力することの大切さや他者を思いやる心等を身につけられるよう、オリンピック・パラリンピックを活用した教育に取り組む。	①大分県版I'mPOSSIBLEの作成 4,437 ②オリパラ教育拠点地域啓発セミナーの実施 993 ③オリパラ教育推進大会の開催 484	オリパラ教育拠点地域啓発セミナー実施回数 [回]	目標値	3	3		推進校におけるスポーツの愛好度 [％]	目標値	84.8	84.8		B
				実績値	3	3			実績値	77.9	84.5		
				達成率	100.0%	100.0%			達成率	91.9%	99.6%		
	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値				事業の成果・今後の方針				
	予算	8,000	6,000		実績値				アスリートの招聘に止まらず、事前・事後学習を教育課程とリンクさせながら、キャリア教育、道徳、生徒会活動と教科横断的に取り組んだことで、児童生徒がスポーツに関心を持つとともに、「勇気を出すこと」、「目標に向かって努力すること」の重要性を学ぶことができた。				
	決算	6,051	3,272		達成率				パンフレット「大分県版I'm POSSIBLE」の作成などにより、当初の事業目的を概ね達成したことから当該事業は終了する。				

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価
8	幼児教育推進体制充実事業 (R1～R3) 義務教育課 幼児教育施設（幼稚園・認定こども園・保育所）における幼児教育の質の向上を図るため、幼児教育研修の支援や幼小接続に関する研修等を行う。	①幼児教育内容に関する助言や研修支援を行う幼児教育アドバイザーの派遣 8,279 ②幼児教育と小学校教育の円滑な接続をめざした研修の実施 3,405	幼児教育アドバイザーの派遣回数 [日]	目標値	270	270	270	77'ローカリズムを作成している幼児教育施設の割合 [％]	目標値	60.0	64.0	68.0	A
				実績値	217	186	—		実績値	55.0	66.0	—	
				達成率	80.4%	68.9%	—		達成率	91.7%	103.1%	—	
	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値	8	8	8	事業の成果・今後の方針				
	予算	11,291	11,684	48,090	実績値	8	2	—	新型コロナウイルスの影響により、幼児教育アドバイザーの派遣日数は減少したが、集合研修をWeb上での実施としたり、各種講義動画の配信、幼小接続に関するアンケートの実施により、アプローチカリキュラムの作成を推進することができた。				
	決算	10,669	10,585	—	達成率	100.0%	25.0%	—	※アプローチカリキュラム：就学前の幼児が小学校の生活や学習へ適応できるようにするとともに、幼児期の学びが小学校でも生かされるように工夫された5歳児のカリキュラム				

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価
9	ものづくりスペシャリスト育成推進事業 (H13～) 教育財務課 地域産業社会の振興と発展に貢献する人づくりをいっそう進めるため、農業・工業高校の実習設備を充実し、将来の産業界を担う高度な技術を持つ人材の育成を図る。	①高度情報化の進展に対応した農業・工業高校の実習設備の整備 43,924	整備計画に基づく重点設備導入校数 [校]	目標値	11	8	7	設備導入（更新）前に比べ、効果的学習が可能となったと答える割合 [％]	目標値	100.0	100.0	100.0	A
				実績値	11	9	—		実績値	100.0	100.0	—	
				達成率	100.0%	112.5%	—		達成率	100.0%	100.0%	—	
	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値				事業の成果・今後の方針				
	予算	38,442	43,924	38,660	実績値				農業実習に必要な苗テラスやコンバイン等を整備したほか、測量実習に必要なトータルステーションの整備を、当初予定の2校から3校に増やしたことにより、農業・工業高校の専門学習や進路意欲の向上に繋がり、導入を実施した全ての学校で効果的な学習を行うことが可能となった。				
	決算	38,440	43,606	—	達成率				今後も、産業界が求める高度な技術・技能を有した専門的な職業人材の育成のために必要な設備を重点的に整備する。				

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：Ⅲ-1-（1）】

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価			
10	OITAの未来を担う子ども育成事業 （R2～R4） 義務教育課 キャリア教育の充実を図るため、自らの考えや活動内容を記録するキャリア・ノートを作成し、全小・中学生に配布する。また、地域の産業・人的資源を活用した講演会や中高生による企業訪問等を実施する。	①キャリア・ノートの作成・配布による活用促進 5,051 ②地域資源を活用した企業訪問 499 ③各教育事務所管内の代表中学校によるふるさと学習成果発表会開催 36	キャリア・ノート活用促進協議会の開催	目標値		1	1	「人の役に立つ人間になりたい」と答えた生徒数	目標値		69.0	96.0	A			
				実績値		1	—		実績値		72.4	—				
			[回]	達成率		100.0%	—		[人]	達成率		104.9%		—		
						中高生による仕事発見・夢発見動画の作成	目標値		3	3	事業の成果・今後の方針 全国学力調査が実施されなかったため、大分県の調査結果をもとに目標値・実績値を算出。全児童生徒にキャリア・ノート配布後、教員対象の講演等により定着を図った。企業訪問はコロナ禍のため実施を見送った。地域学習の成果発表会はオンラインによる開催になったが、各地域の特色ある発表があり、次年度への機運醸成となった。 令和3年度は、キャリア・ノートの実践事例収集と、本格実施となる仕事発見・夢発見動画の作成等を通して、キャリア教育の充実を図る。	目標値		0	—	
				[本]	達成率		0.0%	—	実績値			1	—			
				[回]	達成率		100.0%	—	地域学習の成果発表会の開催	目標値			1	1		
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値		1	1	実績値		1	—					
予算		6,281	5,156	達成率		1	—									
決算		6,204	—													

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価		
11	学びの接続推進事業 （H30～R2） 高校教育課 令和3年度の大学入学選抜実施要項の見直しを見据え、児童生徒の学力向上を図るため、授業改善を推進し、小・中・高等学校を通じた一体的な指導体制を確立する。	①大学入学共通テストに向けた指導力向上の取組 10,431 ②生徒の主体性を向上させる学ぶ力向上ゼミ等の実施 1,008 ③教科指導リーダーの育成 752	学ぶ力向上ゼミ参加生徒数	目標値	400	400		進学重点8校等の難関大合格者数	目標値	220	225		A		
				実績値	509	444			実績値	262	256				
			[人]	達成率	127.3%	111.0%			[人]	達成率	119.1%	113.8%			
						公開授業に参加した教員数	目標値	400	400		事業の成果・今後の方針 コロナ禍で中止した催事もあるが、講座やグループワークを通して生徒自らが「主体的な学び」とは何かについて考える「学ぶ力向上ゼミ」や、教員向けに学校組織で授業改善に取り組む重要性について考える「カリキュラム・マネジメント推進会議」などを開催し、生徒の学力向上及び授業改善の推進が図られたことから、昨年度に続き、目標を上回る難関大学合格者数増の成果が得られた。 大分県版英語4技能育成システムの構築とICTを活用した授業改善を強化するため、令和3年度から「未来へつなぐ学び推進事業」を実施する。	目標値		0	
				[人]	達成率		148.8%	0.0%	実績値			595	0		
				[人]	達成率		80.7%	0.0%	子どもの未来を拓く学びフォーラム参加者数	目標値			150	150	
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値		150	150	実績値		121	0				
予算	15,291	12,191		達成率		80.7%	0.0%								
決算	14,353	11,558													

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価			
12	大分をつなぎ、つむぐキャリア教育推進事業 （R1～R3） 高校教育課 将来の地域の担い手となる普通科高校生を育成するため、フォーラムや教員研修を実施するとともに、生徒が自己のキャリアを見つける「大分県版キャリアノート」の普及を進める。	①キャリアノート作成、全校への配布 466 ②キャリア教育事業（フォーラム・インターンシップ） 378 ③キャリア教育担当教員研修 18	普通科を対象としたキャリア教育事業に参加した生徒数	目標値	650	700	750	キャリア意識が高まった普通科高校生の割合	目標値	70.0	75.0	80.0	A			
				実績値	666	700	—		実績値	73.0	77.8	—				
			[人]	達成率	102.5%	100.0%	—		[%]	達成率	104.3%	103.7%		—		
						「キャリアノート」を有効的に活用できた生徒の割合	目標値	55.0	60.0	65.0	事業の成果・今後の方針 キャリアノートの普及やキャリアフォーラム等の活動により、生徒が将来の目標を立て、それに向かって進んでいくキャリア意識が昨年より4.8ポイント上昇した。 キャリアノートの活用には学校ごとに差が見られることから、令和3年度は、担当教員研修において有効な活用事例の共有を行い、普及の促進を図る。	目標値		52.9	46.6	—
				[%]	達成率		96.2%	77.7%	—	実績値			80.0	85.0	90.0	
				[%]	達成率		120.4%	114.2%	—	「大分をつなぎ、つむぐキャリア教育研修」が効果的だったと回答した教員の割合		目標値		96.3	97.1	—
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	達成率		120.4%	114.2%									
予算	2,418	862	2,510													
決算	1,962	664	—													

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：Ⅲ-1-(1)】

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価
13	全国産業教育フェア大分大会開催事業 (R1 ~ R2) 高校教育課 産業教育の充実・発展を図るため、高校生が日頃の学習成果を発表する「全国産業教育フェア大分大会」を開催する。	①第30回全国産業教育フェア大分大会開催 19,370	プレ大会参加者数 [人]	目標値	2,000			産業教育の理解度 [％]	目標値	60.0	80.0		A
				実績値	3,308				実績値	86.0	89.3		
				達成率	165.4%				達成率	143.3%	111.6%		
			大会参加者数 [人]	目標値		100,000		事業の成果・今後の方針 新型コロナウイルスの影響により、開催規模の縮小、県外参加者の制限等を行なったため、大会参加者数は目標値を大きく下回ったものの、大会に参加した生徒等の産業教育に対する理解度は目標以上を達成することができた。また、大分大会では新たにWEBサイト上で発表動画を公開したり、ネット販売等を行うことで、産業教育の魅力を発信することができた。					
				実績値		2,500		今後は、これらの成果をもとに、大分県の産業教育の振興・発展を図る。					
達成率			2.5%										
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値				実績値					
予算	9,273	19,370		達成率									
決算	8,434	19,370											

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価
14	大分のものづくり魅力発信・人材育成事業 (R1 ~ R3) 高校教育課 大分の未来を築く工業教育を推進するために、地域産業界との連携を深め、高度な技術・技能を有する専門的職業人材（スペシャリスト）の育成を図る。工業科生徒の「一人一資格取得」を推進する。	①職業資格取得・知的財産教育の推進 9,599	技能士取得者数 [人]	目標値	423	429	437	一人一資格が実践できた学校 [校]	目標値	8	9	10	D
				実績値	507	347	—		実績値	7	7	—	
				達成率	119.9%	80.9%	—		達成率	87.5%	77.8%	—	
			ジュニアマイスター顕彰取得者数 [人]	目標値	270	276	284	事業の成果・今後の方針 新型コロナウイルスの影響による技能検定の相次ぐ中止等により、技能士取得者数、ジュニアマイスター顕彰取得者数ともに目標に及ばなかった。また、企業見学やインターンシップ、出前授業も、希望の半数程度の実施にとどまった。					
				実績値	227	201	—	令和3年度の事業実施にあたっては、出前授業や技能士の指導の際にICT機器を活用した遠隔配信を行うなど、新型コロナウイルスの影響に対応しながら専門的職業人材の育成や、「一人一資格」の目標達成に引き続き取り組む。					
達成率	84.1%	72.8%	—										
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値	10	10	10	目標値					
予算	9,546	9,599	9,539	実績値	9	7	—	達成率					
決算	8,835	8,603	—	達成率	90.0%	70.0%	—						

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価
15	キャリアプロデューサー活用推進事業 (R1 ~ R3) 高校教育課 工業系高校生の県内就職を支援するため、工業系高校にキャリアプロデューサー2名を配置する。	①県内企業の情報発信とキャリア教育の推進 8,463	キャリアプロデューサーのガイダンス実施校 [校]	目標値	10	10	10	県内企業の就職内定率の向上 [％]	目標値	70.0	75.0	80.0	C
				実績値	10	10	—		実績値	64.5	64.5	—	
				達成率	100.0%	100.0%	—		達成率	92.1%	86.0%	—	
			キャリアプロデューサー企業訪問数 [社]	目標値	74	144	144	事業の成果・今後の方針 新型コロナウイルスの影響により、キャリアプロデューサーの企業訪問に支障が生じたものの、オンラインでの企業見学会を実施するなど、収集した情報の共有に努めた。県内の企業情報は着実に学校に浸透しており、少しずつではあるが県内企業に対する理解が深まり、生徒の県内就職に対する意識も高まってきている。引き続き、キャリアプロデューサーと連携を図り、学校、卒業生、企業等、それぞれのニーズに対応できるような情報収集を行い、就職支援につなげる。					
				実績値	122	131	—						
達成率	164.9%	91.0%	—										
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値	29	29	29	目標値					
予算	6,723	8,463	9,580	実績値	23	10	—	達成率					
決算	4,877	7,380	—	達成率	79.3%	34.5%	—						

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：Ⅲ-1-（1）】

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価		
16	大分の農林水産業を牽引する担い手育成推進事業 （H30～R2） 高校教育課 本県の農林水産業を牽引する力強い担い手を育成するため、先進的な農業者や大学等と連携し、農林水産高校生を対象とした実践的な研修等を行う。	①担い手育成プログラム（くじゅうアグリ創生塾での研修等）の実施 18,035 ②農作物等の生産工程管理システム導入研修 8,218 ③くじゅうアグリ創生塾の維持・管理運営費 5,700 ④農林水産人材育成地域協育プログラムの推進 1,222	農業・林業・水産業スキルアップ研修を受講した生徒数	目標値	510	700		県内の農林水産関連企業等に就職した生徒数	目標値	65	66		A		
				実績値	824	528			実績値	66	66				
			[人]	達成率	161.6%	75.4%			[人]	達成率	101.5%	100.0%			
			区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	GAP及びHACCP研修を受講した生徒数	目標値	520	540	事業の成果・今後の方針				
			予算	43,074	33,175			実績値	533	546	著名な講師からの講演・経営指導、農業大学校での先進技術体験研修、地域の生産者による技術指導（ネギ栽培、キムチ製造等）など、実践的な取組を多く取り入れたことにより、農林水産分野の生産（農業法人等）及び加工分野に対する生徒の関心を高めることができた。 今後は、先端的マネジメント教育やスマート技術の学びを推進し、持続的な農業経営を実践できる担い手育成を進めるため、令和3年度から「農山漁村を牽引する担い手確保・育成推進事業」を実施する。				
決算	39,346	32,193		取組改善に向けた第三者からの提言数	目標値	33	36								
					実績値	34	35								
					達成率	103.0%	97.2%								

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価		
17	魅力あふれる農業高校情報発信事業 （H30～R2） 高校教育課 さらなる少子高齢化が進む中であって、将来の県農業を担う人材の確保・育成を図るため、久住高原農業高校に全国募集を実施し、農業に対して意欲のある生徒を県外から呼び込む。	①県外での学校説明会（地域みらい留学フェスタ） 1,570 ②オープンキャンパスの実施 405	県外説明会の参加者数	目標値	1,100	1,210		県外からの受験者数	目標値	17	19		D		
				実績値	2,093	1,745			実績値	8	11				
			[人]	達成率	190.3%	144.2%			[人]	達成率	47.1%	57.9%			
			区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	体験入学参加者	目標値	66	72	事業の成果・今後の方針				
			予算	1,932	1,975			実績値	34	57	コロナ禍に対応してオンラインで行った地域みらい留学フェスタや、東京・大阪・福岡の各県外事務所と連携して開催した久住高原農業高校単独の学校説明会等、学校の認知度を上げる取組を実施した結果、令和3年度入試において計13名（「全国募集枠」12名中11名、「隣接枠」2名）の県外からの受験があった。 令和3年度からは、「農山漁村を牽引する担い手確保・育成推進事業」に統合して全国募集の取組を継続し、オープンキャンパスや、県外説明会等の実施による情報発信に取り組む。				
決算	1,725	1,684			達成率	51.5%	79.2%								
					目標値										
					実績値										
					達成率										

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価			
18	地方創生を担うビジネスカパワーアップ事業 （R1～R3） 高校教育課 地方創生に貢献する将来の若手リーダーを育成するため、地域の活性化に向けた実践的活動を通して、起業家精神やビジネスマナー、課題解決力が身につくよう支援する。	①「高校生発！地域創生」プロジェクト 5,049 ②ビジネスマナー育成セミナー 835	「高校生発！地域創生会議」卒業生外部サポーター数	目標値	12	24	36	起業に興味、関心を持つ生徒が増加した学校数	目標値	12	13	13	A			
				実績値	19	18	—		実績値	12	13	—				
			[人]	達成率	158.3%	75.0%	—		[校]	達成率	100.0%	100.0%		—		
			区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	各種セミナー平均参加者数	目標値	48	60	72	事業の成果・今後の方針				
			予算	11,388	5,884	8,547		実績値	53	64	—	地方創生会議において、生徒とプロジェクトサポーター（企業、大分で活躍する卒業生）が、地域の魅力や課題について互いに意見を交わすことで、起業家精神を育成する授業が展開できた。 今後も、地域の魅力や課題を知る場を教材に取り入れながら、高校生ならではの地域連携の取組や、独創的な商品開発などを通じた取組を実施していく。				
決算	7,023	3,722	—		達成率	110.4%	106.7%	—								
					目標値											
					実績値											
					達成率											

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：Ⅲ-1-(1)】

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価		
19	福祉の魅力発見・発信・発展事業 (R1 ~ R3) 高校教育課 福祉系高校で、入学者を確保し、在校生・卒業生を確実に地域の福祉人材として育成するため、福祉の仕事の誇りや、やりがい、地域福祉の発展に貢献することの意義を体験できる活動を行う。	①福祉のパイオニアによる知識・技術向上活動等 1,358	生徒の意識向上度 [%]	目標値	60.0	65.0	70.0	福祉系就職率 [%]	目標値	60.0	65.0	70.0	A		
				実績値	63.0	75.6	—		実績値	57.0	78.3				
				達成率	105.0%	116.3%	—		達成率	95.0%	120.5%				
			区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値				事業の成果・今後の方針				
			予算	1,358	1,358	1,358	実績値				福祉系就職率78%、福祉系進学率79%、また、介護福祉士国家試験の合格率は98%(全国71%)と全国平均を上回る結果となり、本県の福祉・介護人材の量的・質的確保につなげることができた。				
			決算	1,234	674	—	達成率				今後も、大学、福祉施設等の福祉の専門家等との連携による講習会や地域福祉貢献活動の充実を図るとともに、福祉・介護の魅力を発信する取組や地域福祉課題の解決に向けた取組など、学んだ知識・技術を活用する取組も取り入れ、福祉人材の育成を図る。				

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価		
20	教育庁ワークセンター設置運営事業 (R1 ~) 教育人事課 特別支援学校生徒の一般就労を促進するため、教育庁内にワークセンターを設置し、労働習慣や必要なキャリアの習得を支援する。障がい者雇用を促進し、教育現場における働き方改革を推進するため、教育機関に障がい者スタッフを雇用する。	①障害者の雇用 89,449 ②ワークマネージャーの雇用 9,046 ③ワークセンター運営費 1,928	教育庁ワークセンターにおける知的障がい者等雇用数 [人]	目標値	3	6	6	障がい者等雇用率 [%]	目標値	2.40	2.40	2.50	A		
				実績値	3	6	—		実績値	1.65	2.47				
				達成率	100.0%	100.0%	—		達成率	68.8%	102.9%				
			区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値				事業の成果・今後の方針				
			予算	7,092	100,423	130,324	実績値				教育庁ワークセンターに加え、新たに県立学校や県立図書館等の教育機関にも障がい者スタッフを雇用したことにより、令和2年度の障がい者雇用率が2.47%となり、法定雇用率を達成することができた。				
			決算	6,983	95,574	—	達成率				令和3年度から法定雇用率が2.5%に引き上げられることから、引き続き障がい者雇用の推進に取り組む。				

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価		
21	特別支援教育振興事業 (H15 ~) 特別支援教育課 障がいのある子どもたちの教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進を図るため、指導力向上や医療的ケア実施体制の整備等を行うとともに、チーム支援体制の構築といった教育体制の整備を図る。	①特別支援学校における安全な医療的ケアの実施と新学習指導要領の主旨を踏まえた授業研究会の実施 5,731 ②県特別支援連携協議会(年2回) 275 ③第三次大分県特別支援教育推進計画フォローアップ委員会(年3回) 116	カリキュラム・マネジメントが推進された学校数 [校]	目標値	16	16	16	保護者評価アンケートで3.0以上(4点評価の場合)の学校割合 [%]	目標値	100.0	100.0	100.0	A		
				実績値	16	16	—		実績値	100.0	100.0				
				達成率	100.0%	100.0%	—		達成率	100.0%	100.0%				
			区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値	16	16	16	事業の成果・今後の方針				
			予算	13,598	6,122	5,901	実績値	16	16	—	全ての特別支援学校で、新学習指導要領に沿った指導案を作成したり、招聘した専門家からいただいた助言内容を指導方法に取り入れるなど、子どもたち一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を行うことができた。また、カリキュラム・マネジメント推進計画を策定し、年間指導計画の見直しなど教育課程の改善を継続的に行う体制を整えた。				
			決算	12,610	5,038	—	達成率	165.3%	115.3%	—	引き続き、安全で安心な教育体制の整備を行うとともに、多様な障がいに対応できるよう、教職員の専門性の向上等にも取り組む。				

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：Ⅲ-1-（1）】

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価		
22	特別支援学校就労支援事業 （H23～R2） 特別支援教育課 特別支援学校生徒の一般就労を促進するため、就労支援アドバイザー（8人）を配置するとともに、就職に向けた生徒や保護者の意識改革や企業からの評価向上につながる職業教育を実施する。	①就労支援アドバイザーの配置 24,232 ②特別支援学校働く力向上支援事業 1,556 ③特別支援学校就労支援体制強化事業 957	就労支援アドバイザーの開拓企業数 [件]	目標値	111	111		知的障がい特別支援学校高等部生徒の一般就労率 [%]	目標値	31.9	32.3		C		
				実績値	187	189			実績値	20.0	26.2				
				達成率	168.5%	170.3%			達成率	62.7%	81.1%				
				外部講師の派遣回数	目標値	32	32		事業の成果・今後の方針						
				実績値	26	27		多くの参加を予定していた産業教育フェアにおいて、新型コロナウイルス感染拡大の影響による入場制限が行われたため、活動指標「ワーキングフェア参加人数」が大幅に未達成となった。希望する生徒42名を上回る44名の一般就労が実現したが、福祉的就労環境の充実等により、一般就労を希望する生徒が減少しており、成果指標の目標は達成できなかった。 本事業は令和2年度で終了するが、引き続き一般就労率の向上を図るため、個々の特性に応じた働き方の提案を行う人材の配置や進路指導の改善・充実に取り組む「特別支援学校就労達成促進事業」を実施する。							
				達成率	81.3%	84.4%									
ワーキングフェア参加人数	目標値	400	400												
実績値	663	60													
達成率	165.8%	15.0%													
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度												
予算	26,167	26,745													
決算	25,208	25,072													

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価		
23	特別支援学校キャリアステップアップ事業 （H30～R3） 特別支援教育課 特別支援学校生徒の一般企業等への就労を促進するため、卒業生を県立学校で雇用し、労働習慣やスキルの獲得を支援する。	①知的障がい者の雇用 27,886 ②サポートチームによる就労支援 12,259	勤務のべ日数（実際の勤務日／予定した勤務日） [日]	目標値	3,210	2,842	2,400	雇用期間を通して勤務したチャレンジスタッフの人数（※） [人]	目標値	13	14	—	A		
				実績値	2,884	2,796	—		実績値	13	14	—			
				達成率	89.8%	98.4%	—		達成率	100.0%	100.0%	—			
				サポーター会議実施回数（回／1人）	目標値	4	4	4	事業の成果・今後の方針						
				実績値	4.8	2.6	—	活動指標「サポーター会議実施回数」については、コロナ禍により実施を見送ったものがあつたため、目標未達成となったが、メールや電話による情報交換などを実施したことで、スタッフへの支援内容等を関係機関と協議・共有できた。 雇用したスタッフの内、3名が一般企業等への就職が決まった（内2名は年度途中で就職）。 令和3年度は、企業に就職した後の支援主体である障害者就業・生活支援センターとの連携強化に取り組む。 （※）令和3年度の成果指標及び目標値 雇用3年目チャレンジスタッフの希望進路実現率 100.0[%]							
				達成率	120.0%	65.0%	—								
目標値															
実績値															
達成率															
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度												
予算	28,450	40,145	55,138												
決算	27,506	38,923	—												

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価		
24	大分地区特別支援学校再編推進事業 （R2～R4） 特別支援教育課 第三次大分県特別支援教育推進計画に基づく大分地区での特別支援学校再編を実施するため、説明会の開催等、高等特別支援学校の令和4年度開校に向けた準備を進める。	①聾学校の移転支援 5,718 ②新設高等特別支援学校開校に向けた学校説明会、校名募集等の実施 1,844	学校説明会の開催 [回]	目標値		1	1	学校説明会参加者数 [人]	目標値		200	200	A		
				実績値		1	—		実績値		477	—			
				達成率		100.0%	—		達成率		238.5%	—			
				開校支援委員会の開催	目標値		1	2	事業の成果・今後の方針						
				実績値		1	—	「教育だよりおおいた」を活用し、説明会の開催や校名募集の周知を図った。また、説明会案内チラシを県内全ての小中学校・特別支援学校に配布した結果、目標値を大きく上回る参加があつた。【内訳】教職員：130名、児童生徒・保護者等：347名 引き続き、教育だよりおおいたを活用するなど広報活動等を実施し、高等特別支援学校の開校を広く周知することで生徒数確保に努める。【例：校章公募（教育だよりおおいた）、開校告知ポスター、学校案内作成】							
				達成率		100.0%	—								
目標値															
実績値															
達成率															
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度												
予算		7,562	78,659												
決算		5,758	—												

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：Ⅲ-1-(1)】

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価		
25	特別支援学校ICT活用充実事業 (R2 ~ R4) 特別支援教育課 特別支援学校に通う幼児児童生徒の学習・生活面での困り事を自分で解決する力が向上するよう、校内でタブレット型端末を活用できる環境整備を実施する。	①個人端末活用のためのモバイルWi-Fiルーターの整備による学習環境の実現 1,275 ②訪問教育における遠隔授業の実施（セルラーモデル） 1,133 ③ICT活用推進教員等研修 398	タブレット型端末を活用した授業実践事例報告の学校間新規共有数	目標値		200	200	タブレット型端末を補助なしで活用できる特別支援学校幼児児童生徒の割合 [%]	目標値		20.0	30.0	A		
				実績値		294	—		実績値		20.9	—			
				達成率		147.0%	—		達成率		104.5%	—			
			区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値		14	13	事業の成果・今後の方針				
			予算		2,806	1,497	実績値		14	—	インターネット接続が不安定な状況があったため、Wi-Fiルーターを追加整備したことで、タブレット型端末の活用機会が増加した。また、ICT活用推進教員を通じて校内研修を実施し、活用事例の共有を図ったことで、教師の指導力が向上した。 引き続き、幼児児童生徒がICT機器を活用し、生活上の困りを解決できるよう、指導の充実を図る。				
			決算		1,849	—	達成率		100.0%	—					
				目標値		30.0	40.0								
				実績値		31.3	—								
				達成率		104.3%	—								

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価			
26	特別支援教育支援員活用事業 (H30 ~ R3) 高校教育課 高等学校における特別支援教育の充実を図るため、特別支援教育支援員を配置し、障がいのある生徒の日常生活の介助及び学習支援を行う。	①特別支援教育支援員の配置 15,160	支援員の配置校数	目標値	7	7	9	支援をした生徒数 [人]	目標値	21	21	27	A			
				実績値	7	7	—		実績値	35	37	—				
				達成率	100.0%	100.0%	—		達成率	166.7%	176.2%	—				
			区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	支援員の活用頻度	目標値	80.0	80.0	80.0	事業の成果・今後の方針				
			予算	12,633	15,160	21,333		実績値	89.8	88.4	—	高等学校における合理的配慮の申請数は年々増加しており、今年度も多くの生徒を支援することができた。令和3年度は支援員配置校を2校追加するため、新規配置校での業務が円滑に進むよう、各校の特別支援教育コーディネーターと毎月連絡を取り合い状況確認を行う等、学校との連携を強化する。				
			決算	12,388	14,115	—		達成率	112.3%	110.5%	—					
				目標値												
				実績値												
				達成率												

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価			
27	県立学校ICT活用授業推進事業 (R1 ~ R3) 教育財務課 令和4年度の新学習指導要領実施に向けて生徒の情報活用能力を育成するため、県立学校にICT教育環境を整備するとともに、ICTを活用した効果的な授業の着実な実施につなげる教科別研修会等を開催する。	①タブレット端末一式購入費用 1,204,635 ②電子黒板一式購入費用 114,210 ③プレゼンテーション教室備品購入・構築費用 51,627	タブレット稼働率	目標値		50.0	55.0	学力向上を実感する生徒の割合 [%]	目標値	80.0	80.0	80.0	A			
				実績値		—	—		実績値	79.2	83.0	—				
				達成率		—	—		達成率	99.0%	103.8%	—				
			区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	英・数・理で作成したICT教材の合計数	目標値	10	15	15	事業の成果・今後の方針				
			予算	521,573	1,512,132	24,287		実績値	38	16	—	新型コロナウイルスの影響を踏まえ、県立学校のICT教育環境整備を加速するため、電子黒板167台、タブレット型端末22,074台、プレゼンテーション実践教室及びパソコン教室用端末369台を整備した。納期の都合で令和2年度内に調達できなかった物品については、令和3年度に予算を繰り越して整備を進める。 引き続き、ICT教育支援アドバイザー及びICT支援員の配置等により、ICTを活用した効果的な授業を着実に実施する。 (翌年度繰越額 149,792千円)				
			決算	180,783	1,360,325	—		達成率	380.0%	106.7%	—					
				目標値	6	6	6									
				実績値	4	6	—									
				達成率	66.7%	100.0%	—									

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：Ⅲ-1-（1）】

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度			成果指標	達成度			評価			
				令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度				
28	新時代の学びを支える先端技術活用支援事業 （R1～R3） 義務教育課 子どもたちの学習に対する興味関心を高め、情報活用能力等の育成を図るため、姫島ITアイランド構想を進める姫島村の小・中学校にICTアドバイザー（各1名）を配置する。	①ICTアドバイザーを小・中学校に各1名配置 7,364 ②ゲストティーチャー招聘による授業サポート 32	アドバイザーの授業支援回数 [回]	目標値	252	396	396	ICTを活用した授業を週1回以上実施した学校の割合 [%]	目標値	55.0	65.0	75.0	A	
				実績値	450	535	—		実績値	89.5	93.5	—		
				達成率	178.6%	135.1%	—		達成率	162.7%	143.8%	—		
				教育庁チャンネルでの授業公開回数 [回]	目標値	1	2	2	事業の成果・今後の方針 令和2年度は、アバターや遠隔会議アプリを活用した社会見学や、タブレット端末等を活用した授業の実施を支援し、その実践を県内に環流した。教育庁チャンネルについては、日程調整がうまくいかず、1回のみの実施となった。 令和3年度は、昨年度の課題であった各教科におけるタブレット端末の効果的な活用方法について、ICTアドバイザーと引き続き協議し、具体的な実践事例を提供することにより、ICTや先端技術を活用した授業の充実を図る。					
				実績値	1	1	—							
				達成率	100.0%	50.0%	—							
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値										
予算	4,509	7,396	7,624	実績値										
決算	4,461	7,367	—	達成率										

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度			成果指標	達成度			評価			
				令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度				
29	未来を拓く学校づくり事業 （R2～R4） 高校教育課 STEAM教育を推進し、地域社会に求められるICT人材の育成を実践するため、先端技術企業のラボを校内に設置し、プログラミング学習及びマーケティング講座等の課題解決型学習を連携して行う。	①先端技術企業と連携した共同授業や部活動支援の推進 24,095 ②企業と学校をつなぐコーディネート者の設置 4,202	地域課題解決に関する研究テーマ数 [個]	目標値		4	8	起業に関心が高まった生徒の割合 [%]	目標値		30.0	40.0	A	
				実績値		5	—		実績値		30.0	—		
				達成率		125.0%	—		達成率		100.0%	—		
				先端技術セミナー等に参加した生徒延べ人数 [人]	目標値		320	320	事業の成果・今後の方針 企業と連携し、ドローンやプログラミングロボット（Pepper）等を活用したプログラミング学習や企業職員によるマーケティング講座等を実施したことにより、生徒のICT技術に対する関心・知識や、地域社会の課題に対する知見を深めることができた。 今後は、情報科学高校（モデル校）での取組の充実や実施学年・学科の拡大に併せ、取組の継続性を高める検討を行うとともに、モデル校での取組の他校への展開を図る。					
				実績値		504	—							
				達成率		157.5%	—							
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値										
予算		28,297	12,644	実績値										
決算		27,705	—	達成率										

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度			成果指標	達成度			評価			
				令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度				
30	子ども科学体験推進事業 （H24～） 社会教育課 小・中学生の科学に関する好奇心や探究心を育むため、学習機能を持った「体験型子ども科学館0-Labo（オーラボ）」を設置し、企業・大学・高校と連携した科学体験講座を実施する。	①大学・高校、企業等との連携による、主に小学生を対象とした科学体験講座の実施 27,203 ②中津市、日田市、佐伯市での定期的な科学体験講座の実施 5,342	科学体験講座実施回数 [回]	目標値	118	150	159	0-Laboを利用した児童・生徒数 [人]	目標値	4,100	6,100	6,100	D	
				実績値	123	152	—		実績値	4,451	4,495	—		
				達成率	104.2%	101.3%	—		達成率	108.6%	73.7%	—		
				出前講座実施回数 [回]	目標値	18	18	18	事業の成果・今後の方針 0-Laboを移転し、定員の増加を見込んでいたが、新型コロナウイルスの感染防止対策として定員を通常の半数に制限したため、当初の目標値に到達できなかった。 ドローンを活用した先進的な講座等を新たに実施するとともに、地域拠点での科学体験講座等を開設したことにより、特に地方の児童生徒に科学体験活動の機会を提供できた。 今後は地域拠点の拡大を図るとともに、STEAM教育の視点を取り入れた科学体験講座を実施する。					
				実績値	18	16	—							
				達成率	100.0%	88.9%	—							
地域での科学体験講座実施回数 [回]	目標値		30	60										
予算	26,564	32,545	42,595	実績値		30	—							
決算	26,555	32,380	—	達成率		100.0%	—							

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：Ⅲ-1-(1)】

No.	事業名・事業概要・予算額				主な事業内容	活動指標	達成度			成果指標	達成度			評価					
							令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度						
31	帰国・外国人児童生徒日本語教育推進事業 (R1 ~ R3) 人権教育・部落差別解消推進課 帰国・外国人児童生徒の日本語能力に応じたきめ細かな指導手法を検証し、日本語指導の充実を図るため、大学と連携して県立高校及び小中学校に支援員を派遣するとともに、日本語指導者を養成する。				①生徒一人ひとりの日本語能力にあった日本語指導の実施 ②日本語指導者の養成	日本語指導が必要な生徒に対し、個別の指導を行った回数 [回]	目標値	470	720	720	指導を受けて日本語能力がアップした生徒の割合 [%]	目標値	80.0	90.0	100.0	A			
							実績値	423	1,148	—		実績値	81.2	97.5	—				
							達成率	90.0%	159.4%	—		達成率	101.5%	108.3%	—				
												モデル校の実践を通して作成したマニュアルを配布した学校数 [校]	目標値	38	38	38	事業の成果・今後の方針 40名（高1校、中4校、小14校）の指導を実施。県教委、市教委、学校、指導員が連携し、派遣の回数、時間、教材、指導内容を工夫したことで、確実な日本語能力の向上につながった。 今後も、日本語指導が必要な児童生徒の増加が見込まれることから、県教委として指導のための人員を確保し、ニーズに応じた派遣体制の整備を推進する。		
													実績値	36	37	—			
												達成率	94.7%	97.4%	—				
												日本語指導者養成研修を実施した回数		目標値		3			
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度		実績値		3	—											
予算	4,141	8,366	6,423		達成率		100.0%	—											
決算	3,617	7,854	—																